



図書館だより

2024.読書週間直前号
明野高等学校図書館

秋です。ゆっくり本を読むのにいい季節になってきました。
10/27~11/9は「読書週間」(標語「この一行に逢いに来た」)です。



☆<三重県の高校生の推し本>のご案内

明野高校も10月25日(金)から、参加しています。

明野高校生の本のコメントも掲載されていますよ。

(推し本コメントをゆるりと図書館カウンターで募集中♪)

<三重の高校生の推し本>とは、三重県の高校生が書いた本に対する感想(コメント)をWebページで公開したものです。高校生のみならず、読みたい本を探すときのサポートになってほしいとの思いから開発されました。

【使い方】

①下のURLまたは、QRコードからアクセスする。

<https://private.calil.jp/gk-2003907-g4r5j/>



※お気に入り登録しておくとお便利です。

②検索窓に好きなワードをいれる

コメントの文章も含めて検索できます。また、「#役に立つ」「#泣ける」などハッシュタグでの検索もできます。

③推しコメントボタンをタップする

検索結果から見たい本をタップ→推しコメントボタンをタップすると、推し本コメントを見ることができます。



新着図書から

※本の表紙の画像は国立国会図書館サーチ書影APIより



天文学・物理学・数学・生物学の世界をさまよいながら拾い集めた「かけら」のコレクション。『知りたいこと図鑑』に続く、イラスト雑学本第2弾。

「世界のかけら図鑑」
古河郁著、KADOKAWA、2024



自称「一発屋の女芸人」が書いた家族の話。ダウン症の姉、認知症の母、酔っ払いの父と一緒に過ごす日常は、大変なはずなのに、いつのまにか笑ってしまうエピソードになっています。

「ポンコツ一家 2年目」
にしおかすみこ著、講談社、2024



加工食品に含まれる添加物が、私たちの体に及ぼす影響を考えてみたことがありますか?この本では、安全性の高い加工食品にたどり着けるように、具体的なアドバイスを掲載しています。

「新版「食べてはいけない」「食べてもいい」添加物」
渡辺雄二著、大和書房、2024



白川さんは、みんなにも自分にも優しい人。そして、本当の美しさを知っている人です。読むとスッキリするコミックエッセイ。おすすめ!

「メンタル強め女子白川さん」
獅子著、KADOKAWA、2024



「ボールペンと消しゴムは、合わせて110円。ボールペンは消しゴムより100円高い。では、消しゴムの値段は?」気になる人は、本のなかの答えを確認してみてください。論理的思考力を高める、クイズ形式の問題が、このほかにもたくさん掲載されています。

「頭のいい人だけが解ける論理的思考問題」
野村浩之著、ダイヤモンド社、2024



「多様性」の時代を生きる10代の人たちが、この一冊を読むことによって、少しでも生きやすくなり、人生のヒントになればよいと思って書かれた本です。

「君はどう生きるか」
鴻上尚史著、講談社、2024

図書館特集コーナー ①料理レシピ本大賞 in Japan 大賞受賞作品

②「三重の高校生の推し本」に掲載された

明野高校生の推し本